

査」(気象庁と環境庁の共同業務)や、前記の放射化分析による拡散実験を含む「局地風と大気汚染物質の輸送に関する研究」等により、多くの質のよいパイナル、ゾンドのデータや拡散実験データがえられ、このモデルの検証、改良が進められた。最近では、水蒸気の凝結過程も組み込まれ、気象庁の広域数値予報と結合(ネスティング)し、1~2日先までの大気汚染の反応を含む移流、拡散を予測するための実用化研究が進められている。

また、香港気象台では、対象地域のスケールや地形条

件を考慮して、このモデルで局地風を予測することとし、プログラム習熟のために担当官を気象研究所に留学させた。いま、香港ではこのモデルをスーパーミニコンに入れ、航空機の発着、海峡の小型船の通行等に対して、きめの細い気象予測を提供するための実用テストを行っているほか、新空港の立地アセスメントにも使っている。

今回は、水分が関与する悪天時の大気汚染についてのべる。

## IFHP/CIB/WMO/IGU 国際会議「都市気候・計画・建築」のお知らせ

<主催> IFHP/CIB/WMO/IGU 国際会議「都市気候・計画・建築」組織委員会

<共催> 世界：国際住宅連合(IFHP)・都市建築気候学委員会

国際建築情報会議(CIB)・W-71 建築気候学ワーキング委員会

世界気象機関(WMO)

国際地理学連合(IGU)・気候学委員会・局地気候小委員会

日本：日本建築学会、日本気象学会、日本地理学会

<後援> 空気調和衛生工学会、日本農業気象学会、日本造園学会、ほか

期 日：1989年11月6日(月)~11日(土)

会 場：国立京都国際会館

テーマ：気候と建築/日射/植栽の効果/大気汚染/気候変化と観測/建築環境設計/都市気候の予測/都市気候とエネルギー管理/水/都市境界層の風構造/都市キャノピー層の風構造/都市気候と建築材料/人間の健康と快適性/都市気候と都市計画/設計解析/ほか

使用言語：英語(ただし、24題の招待講演には同時通訳がある)

登録費：9月30日まで、一般25,000円、学生15,000円(バンケット費は別)

10月1日以降、一般30,000円、学生20,000円

問合せ：〒606 京都市左京区吉田本町 京都大学工学部建築学教室 中村泰人

075-753-5739(直通)

FAX 075-753-5748(教室)